

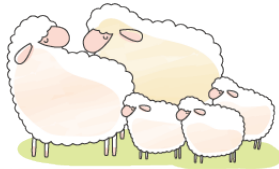


明けましておめでとうございます。

2015年はひつじ年です。羊は「祥」に通じ、中国では、吉祥動物の一つで、群れをなすところから「家族の安泰」を表すとされていて、いつまでも「平和」に暮らすことを意味しているそうです。



タイピックの経営方針のひとつとして、「大家族主義」というものがあります。「人の喜びを自分の喜びとして感じ、苦楽を共にできる家族のような信頼関係を大切にする」。お互いに感謝しあうという気持ち、お互いを思いやるという気持ちを大切に、今年のタイピック全社員の行動指針である「弾ける笑顔」で、“来者如帰”（訪れる人に安らぎを、立ち行く人に幸せを）というおもてなしの心で、多くのお客様に熱い想いと感動をお届けしていきたいと思っております。



今年も、社員一同、心と力を合わせて努力していきます。
どうぞよろしく願い申し上げます。



第4回 写真コンテスト結果発表！！

「ゆっくりやさしいパソコン教室の写真コンテスト」を益田、浜田、萩、廿日市、宇治の5教室合同で行いました。各部門の社長賞です。



<写真部門>



<フォト575部門>



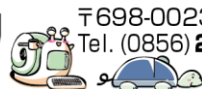
<ワードでお絵かき部門>



<水彩画部門>

私たちは同じことを、100回聞かれても笑顔でお答えします。

Typic 株式会社 タイピック



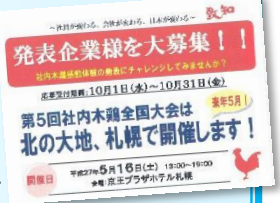
〒698-0023 島根県益田市常盤町7番3号
Tel. (0856) 23-2800 (代) Fax. (0856) 22-5592 番
<http://www.typic.jp>

タイピックでは、OA機器・印刷・通信・ホームページ作成からスタッフの技術向上のお手伝いまで、オフィスの効率的な運営をサポートさせていただきます。

今月の社長のつぶやき

弊社は毎朝の活力朝礼で「生きがい働き甲斐のある職場を創り日本一を目指そう」と唱和しています。

この日本一とは「何の分野」でとかでなく「何かで」日本一番になりたくて唱和しているのですが、いつまでも唱和だけでも仕方ないので「何で日本一番になれるか」を社員の皆さんと探していましたら、致知出版社から第5回社内木鶏全国大会の参加企業募集のチラシが郵送されてきました。「よし、これで日本一を獲得しよう」と思い社員に話し「社内木鶏を通して感動したこと、成長したこと」の原稿を書いてもらい、私は社長として「社内木鶏導入の経緯、その後の変化(成果)、今後のビジョン」を出場企業選考のために原稿を書き始めました。ですが、選考してもらうための原稿で嘘も書けず正直なところ「こんなに苦勞するなら出場すると言わなければ良かった」と思いながら、原稿を何度も何度も修正しました。そして、社員代表の原稿と私の原稿を10月末頃に致知出版社に提出し、祈るような気持ちで結果を待ちました。



結果発表の日、致知出版社から一報が入り「出場決定」の通知を頂いた時は涙が出るくらい嬉しく「感動賞を獲得して日本一番になるぞ」との思いを強くしたのであります。

社内木鶏(もっけい)会とは人間学を学ぶ「致知」を読んで感想を語り合う勉強会です。「致知」には先哲や著名人の生立ち、生き方、考え方、行動から人としてあるべき姿や経営者としての心構え、成功体験などに多くの学びがあり、私達が想像することも出来ない過酷な境遇のなかでも夢を描いて前に進もうとしている方の文章を読み感想を話し合うことにより感受力が刺激され、心が磨かれていきます。弊社では2009年7月から社員教育の一環として取り組んでいます。

第5回社内木鶏全国大会 in 札幌へは、全国から5社(熊本、島根、滋賀、青森、北海道)が出場し、木鶏会の取り組みなどを5月16日に帝王プラザホテル札幌にて1,000名を超える方々の前で発表します。私も社員とともに、「近代夜明けの町益田」を宣伝して来ますので、応援よろしく
お願い申し上げます。



タイピック社内木鶏(月刊「致知」を読んでの感想)

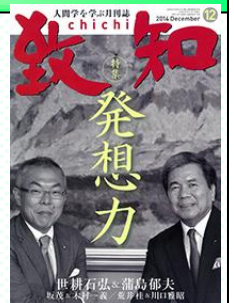
「発想力」S・S

記事を読んで一番印象的だった言葉は、「一つの局面が出現する。どのように対処し如何に克服して行くか。確かな成果をもたらす方法を発想する力量。それが発想力である」です。

私自身、今一つの局面にぶつかっている状態で、まさに今の自分に求められていることだと思いました。

織田信長を例に出していますが、通常の兵士vs兵士という考え方から抜け出して、より根本的で効果的な方法を見つけ出すところがすごいと思いましたが、これには相当の度胸が必要です。小心者の私にはなかなか難しいと思いましたが、最後の松下幸之助の言葉に救われました。

「かつてない困難からはかつてない革新が生まれ、かつてない革新からはかつてない飛躍が生まれる」「執念のあるものは可能性から発想する。執念のないものは困難から発想する」自分の発想力に常に目を向けたいと思います。



兎澤直樹の「兎に角」伝えたいこと

『ツキの原理』



みなさん、こんにちは。株式会社 船井総合研究所の兎澤（とざわ）と申します。

今回で8回目の掲載となります。よろしくお願いいたします。

船井総研という会社は、主に中小企業様の業績アップのお手伝いをしている経営コンサルティング会社です。今回は、「包み込み」という考え方をご紹介します。「包み込み」というのは、「自分と異なる相手を否定するのではなく、相手のすべてを受け入れる姿勢のこと」です。良い人間関係を築く秘訣とも言えるでしょう。

さて今回は、「ツキの原理」という考え方をお伝えしたいと思います。

「ツイてる」「ツイてない」ということです。会社やお店、人には「ツキ」というものがあるということです。船井総研に入社した当時、「ツキ」という言葉に少し違和感を持ちました。少しオカルトチックに聞こえたからです。しかし仕事をしていると、確かに「ツキ」はあるなと感じます。たとえば、一生懸命やっているのに何をやってもうまくいかないこともあれば、それほど力を入れていないのにうまく事が運んでしまうときもあります。そして、業績の良い会社や成長を続ける人ほどツクための良い習慣を身につけています。挨拶や笑顔が明るく元気だったり、掃除が行き届いていたり、相手を喜ばせるための努力を継続していたり、そのような会社や人には周りの人が集まってきます。反対に、人に対して傲慢に接したり、掃除が行き届いていないと、人は離れていきます。

良い人生にする、会社の業績を上げるためには、ツキを味方につけることが大切です。そのためにもどうしたらよいか、次回さらにお伝えしたいと思います。

SAからのお勧め情報



タイピック営業担当者によるお勧め情報のコーナーです。
タイピック印刷事業部の藤根(通称ふじねっこ)と申します。

私がタイピックに入社して1年4ヶ月の中でたくさんのお客様と出逢い、とてもお世話になり感謝の気持ちで一杯です。まだまだ口下手な私ですので、この場を借りて改めて自己紹介をさせて頂こうと思います。

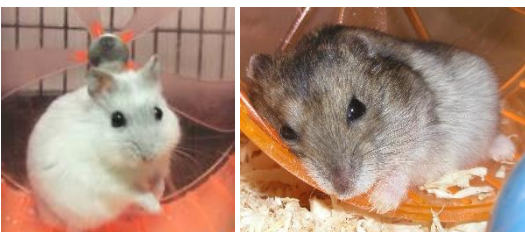
私の地元は鹿足郡の吉賀町で、昔から悪さばかりする悪ガキだったのですが、小学校2年の時に野球に出会ってから大学までの間、野球一筋の毎日でした。北九州から地元である島根県に戻ってきて4年。今はタイピックの印刷事業部営業としてこれかも一生懸命頑張っていこうと思っています。ここでそんな私を毎日癒してくれる可愛いペットを紹介します。

一番のパートナーチワワの「チロ」です。食いしん坊でわがままで甘えん坊で寂しがり屋で臆病な奴で、毎日一緒に過ごしています。散歩をするのにリードをしようとしたら自由に散歩させろと言わんばかりに威嚇してくる犬らしくない一面もあります。



次にハムスターの「チュー介」くんと「銀次郎」くん。

ハムスターは本当に人懐っこくて可愛いです。夜行性で夜な夜な回し車を駆けずり回り夜中に度々起こされる事もありますが憎めない奴です。こんなに小さな体なのに一晩で5kmも走るそうです。



ペットを飼うと、心の癒しだけではなく、医学的見地から健康にいいことが沢山あるそうです。その話は、またの機会にご紹介させていただきたいと思います。

これからも小さなパートナーと共に頑張っていこうと思っておりますので、よろしくお願い致します。

ゆっくりやさしいパソコン教室

■食べて、踊って、笑った「芋煮会」!!

毎年12月に開催している「芋煮会」を昨年も開催いたしました。料理は、参加者全員で調理します。調理士経験のある「料理長」と、ベテランの主婦の皆さんの見事な連携プレイで、手際よく材料が調理されていきます。男性陣には、炭火焼を担当していただきました。



今年は忘年会も兼ねたので、芋煮、しし肉の焼き肉、サザエ、ヒラソの刺身、おにぎり、漬物、フルーツのデザートなど、ご馳走が並びました。みな、差し入れしていただいたものばかりです。ありがとうございました。

ご馳走をいただき満足した後は、スタッフによる益田音頭の披露。ゆかたと仮装をして皆さんの周りを一周した後、参加者全員で益田音頭を踊りながら、テーブルの周りをぐるぐるまわって楽しみました。

いつもながら、皆さんと一緒に作る催しは本当に楽しいです。ふだんは見られない別の面を見せていただくこともでき、お互いに協力し合うことでより人間関係が深まっています。“パソコン教室は楽しい場所”今年もそう思っていただけに、スタッフ一同頑張ります。皆さまのご入会、心よりお待ちしております。(*^^)



同じことを100回聞かれても笑顔でお答えします